

にしおの

地域への思いを形に 一色からこだわりを発信

おっ!



青木淳さんと愛さん夫妻

地元で作られる綿生地を柿渋や藍などの天然素材で染め、ぬくもりの感じられる作品を製造販売する店「渦くじくじ」。「古いを生かして、好きを創る」をコンセプトに、地域に密着した「暮らしにいいモノ」を手掛けています。

その世界へと引き込まれていきます。古着を利用してパッチワークの小物を作り始めると、デザインが好評で友人から製作を頼まれるように。「(夫の)生まれ育った一色で地元の素材を使い、自分たちらしいものづくりを本格的に始めよう」と夫婦の思いが一致。空き家だった淳さんの祖母の家を半年かけて自分たちで改装し、3年前に店をオープンさせました。愛さんが生み出す作品を淳さんがプロデュースするスタイルで日々発信。作品には「伝統ある地元機屋さんの良質な綿素材を使う」「農産物の不要な部分を染料として生かす」など、二人のこだわりがふんだんに詰まっています。「染める技術を独学で学んだ。その経験が染め体験の中で生かされている」と愛さん。一つとして同じものができない染めの楽しさを体感しようと、多くの客が週末に訪れます。



「三河織物を使用した子どもの抱っこひもが売れ筋。最近では三河帯芯を使ったキッズマフラー(下)が人気」と愛さんはうれしそうに見せてくれました。帯芯とは、華やかな帯の中に入れて芯として用いる厚手の布のこと。「海外製品が台頭し、機屋さんが減っている。昔ながらの織り機で作られる貴重な帯芯の魅力をちゃんと発信したい」と淳さんは語ります。他にも、蒲郡市周辺で作られる地域ブランド「三河木綿」の「刺し子織り」を素材に採用。肌触りが良く、柔道着や消防法被に使われるなど丈夫さは抜群です。

現在、「西尾の抹茶」の原料となるてん茶の葉で染める作品を試作中。地域を大切に思うからこそこの挑戦です。「染めの技術には伝統がある。失敗を繰り返しながら洗練させ、自分たちのスタイルで好きなものを作っていきたい」と愛さんは話します。「少しずつ海外展開の可能性が見えてきた。『ストーリー』のあるものを一色発のブランドとして発信していきたい」と熱く語る淳さん。「一色は都会じゃないけど、インターネットで世界中へ発信できる。自分たちが求めるライフスタイルと仕事を両立できている」。二人が思い描いた理想の暮らし方が、そこにありました。

地元への愛着と、素材へのこだわり。青木さん夫婦のアイデアと感性から生み出される作品には、魂と思いが渦のように交錯しています。二人が紡ぐストーリーはまだまだ終わりません。(山崎豊



左/ 藍染めの作業に没頭する愛さん 上/ 趣ある店内。二人の思いが詰まった商品が所狭しと並ぶ 右/ 染めた作品を干し、状態を確認する淳さん

一球入魂

東幡豆少年野球クラブ



東幡豆少年野球クラブは、昭和49年に発足した少年軟式野球クラブです。「明るく・元気に・あいさつ」をモットーに、大会での優勝を目指して頑張っています。現在、団員数は男女合わせて55人。東幡豆町に限らず、西尾市内の小学生が所属しています。

暑い日も寒い日も無心で白球を追い掛け、チーム一丸となって戦う素晴らしさを感じながら練習に打ち込んでいます。練習や試合以外にも、ナゴヤドームでのプロ野球観戦やビッグ大会など、行事が盛りだくさん。今年度はOBの石川大雅さん（愛産大三河高校）が甲子園出場を果たし、応援で大いに盛り上がりました。

毎週土・日曜日の午前8時から、東幡豆町の緑ヶ崎野球場、浜ノ山グラウンドで練習しています。随時、見学や体験ができます。気軽にお問い合わせください。三河湾が眼前に広がるグラウンドで、汗や涙を流し、一緒に野球を楽しみませんか。仲間を信じて同じ目標に向かって頑張る経験を通じ、一緒に成長していきますしよう。

問 布引（☎090・9178・2814 / 東幡豆町）

このコーナーに登場してくれるサークル・ボランティア団体を募集しています。詳しくは、秘書課広報担当（☎65・2159）へ。



新家 涼太くん
（上永良町）

平成28年7月生まれ
やんちゃで元気いっぱい。
これから周りを明るく楽しませてね！



黒野 紗矢ちゃん
（伊藤四丁目）

平成29年8月生まれ
マイペースで意外とわんぱくな癒やし系。姉妹でいつも仲良くてね。



中根 碧音くん
（吉良町）

平成28年7月生まれ
いつも元気でかわいい
あおくん♡元気で無事に成長してね！大好き。



田中 ヒカルちゃん
（亀沢町）

平成28年8月生まれ
よく食べよく寝てよく遊ぶキラキラ光るヒカルちゃん大きくなあれ。



岡田 結夢ちゃん
（徳次町）

平成28年11月生まれ
笑顔のステキな結夢ちゃん☆家族みんなで幸せいっぱい作ろうね♡



田中 惺くん
（今川町）

平成29年1月生まれ
わが家のスター惺くん！ニコニコ笑顔はみんなの宝物。大好きだよ。



杉浦 実依ちゃん
（平坂吉山一丁目）

平成28年11月生まれ
人懐っこく元気いっぱいのみーちゃん♡兄妹仲良く大きくなーれ!!



伊藤 志恩くん
（住崎町）

平成29年1月生まれ
お兄ちゃん大好きしおんくん♡いつもかわいい笑顔をありがとう☆

キ
ツ
ズ
ア
ル
バ
ム

岩瀬文庫コレクション

湘夢遺稿

(2-36)

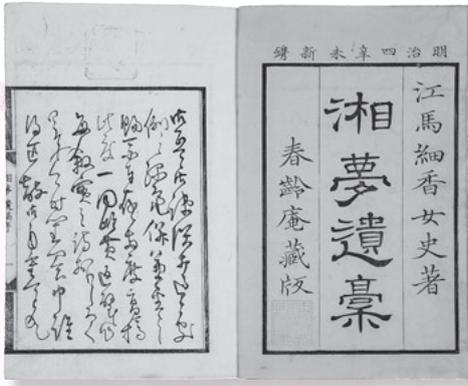
岩瀬文庫学芸員 村瀬貴則

江戸時代後期の女流漢詩人・江馬細香(1787~1861年)の漢詩集です。細香は大垣藩医の江馬蘭斎の長女で、13歳の頃から京都で画技を学び、生涯にわたり漢詩を詠じるとともに墨竹図を描き続けました。

現在開催中の岩瀬文庫特別展「西尾にも来た! 頼山陽を知っていますか?」は、江戸時代の代表的な漢詩人・頼山陽に焦点を当てた展示です。山陽は同時代の漢詩人と広く交際があり、細香もその一人でした。細香は文化10(1830)年、山陽の門人となり、漢詩文の添削や手紙のやり取りなど、交流は生涯続きました。上の写真の右側は表紙見返しで、左側は山陽からの手紙が印刷されています。細香に自家詩集の刊行を強く勧める内容です。

婚姻関係にはありませんでしたが、二人の間には終生強い恋愛感情がありました。恋文を送り合ったり、恋心を漢詩に詠んだりしています。山陽は女性遍歴の大変激しい人でしたが、一方で精神的に対等に交際できる女性を理想とし、細香はその数少ない一人でした。

特別展では、細香をはじめ、山陽と交流を持った個人的な人々の資料が数多く展示されています。ぜひ、お越しください。



湘夢遺稿



「江馬細香自賛墨竹図」 個人蔵 特別展出陳

岩瀬文庫 (☎56・2459)

月刊!! スポーツにしお

Vol.46

プロバスケットボール選手を輩出 ミニバスケットボールを始めよう

ミニバスケットボール(ミニバス)は、小学生が行うバスケットボール競技です。中学生以上と比べると、コートやボールが一回り小さい、リングの高さが低いなどの違いがあります。身長や体格に関係なくプレーできるため、男女ともに多くの小学生が楽しんでいきます。また、バスケットボールは「走る・跳ぶ・投げる」を兼ね備えたスポーツで、持久力や筋力を鍛えることができます。

西尾市では、14年からサタデープランでミニバスの教室が始まりました。市バスケットボール協会は、小学生対象の「市ミニバスケットボール教室」と中学生対象の「西尾シューティングスターズ」を立ち上げ、県の大会に参加するなどしています。卒団後に高校で全国大会に出場するなど、実力の高い選手を数多く輩出しています。現在、西尾市出身の卒団生、牧全選手がプロバスケットボールリーグ・Bリーグのレバンガ北海道で活躍中。チームで牧選手が活躍する試合へ応援に出掛けています。牧選手がミニバスの練習に顔を出してくれることもあり、子どもたちは間近で見える素晴らしいプレーに目を輝かせています。



牧全選手



市バスケットボール協会 鈴木 (☎35・1177) / 吉良町スポーツ課振興担当 (☎54・0002) / 総合体育館内

西尾市のデータ

人口



	12月1日現在	前月比
男性	87,407人	+75人
女性	84,839人	-22人
計	172,246人	+53人
世帯数	64,471世帯	+96世帯

交通事故の状況



	人身事故 件数	死傷者	
		死者	死者
11月	65件	82人	0人
30年累計	654件	812人	3人

犯罪発生状況



	刑法犯総数	侵入盗	特殊詐欺
11月	88件	10件	2件
30年累計 (被害総額)	776件	99件	10件 1,816円

消防の状況



	火災	救助	救急
11月	5件	0件	544件
30年累計	54件	32件	6,350件

今月の表紙

地元の食材を使い、写真映えるスイーツとして市観光協会が新たに仕掛ける「西尾パフェ」。今夏実施した「西尾かき氷」に続く第2弾が始まりました。参加店舗は22店。どのパフェもこだわりとおいしいが詰まった店主渾身の逸品です。一口食べれば、ぜいたくな味わいでいっぱい。ぜひ、甘〜い時間をお楽しみください。

編集雑記

あけましておめでとうございます。今年も広報にしおをよろしくお願ひします。今号で掲載した「西尾パフェ」。編集者、広報担当内は「このパフェかわいい」「イチゴがいっぱいでおいしそう！ 食べたい〜」などと話に花が咲き、その様子は女子会さながら（女子職員だけではありませんよ…）。あんこ好きの私としては今後、「西尾の抹茶に合う」「西尾産のイチゴを使った」大福やだんごなどの和スイーツの取り組みが企画されるのを期待しています。（な）

スクールスマイルショット

School Smile Shot

●平坂中学校

11月15日、合唱コンクールが文化会館で行われました。各学年で学年合唱をした後、クラスごとに練習の成果を披露。全校生徒や保護者を前に、息の合った歌声を響かせました。



●東幡豆小学校

11月24日、学芸会が行われました。4年生が演じたのは「まぬけ村物語」。戦に連れていかれないように、わざとまぬけなふりをする村人を面白おかしく演じて、観客を楽しませていました。



●佐久島中学校

12月12日にマラソン大会が行われました。見守る保護者から大きな声援が飛ぶ中、学校前を一緒にスタート。強風が吹く海沿いのコースを、自己ベストのタイム目指して勢いよく駆け抜けました。



【西尾市役所】

URL (パソコン) <http://www.city.nishio.aichi.jp/>
 (携帯電話) <http://www.city.nishio.aichi.jp/mob/>
 (スマートフォン) <http://www.city.nishio.aichi.jp/sp/>

E-mail nishio@city.nishio.lg.jp

- 本 庁 ☎0563・56・2111 (代表)
〒445-8501 西尾市寄住町下田22
- 一色支所 ☎0563・72・7111 (代表)
〒444-0492 西尾市一色町一色東前新田8
- 吉良支所 ☎0563・32・1111 (代表)
〒444-0596 西尾市吉良町荻原川畑20
- 幡豆支所 ☎0563・62・5511 (代表)
〒444-0798 西尾市西幡豆町仲田14-2



スマートフォンなどで読み取ると「スマートフォン用西尾市ホームページ」が閲覧できます。